



八乙女中学校
特別支援便り

(保護者版2)

2023/ 5月

「苦手を助けてくれる文房具の話」

いよいよ新年度の授業が始まりました。「今年は勉強がんばるぞ！」と決意を新たにしているお子さんも少なくないでしょう。先日、ホームセンターの文房具コーナーで「不器用さんのための文房具」という特設コーナーを見かけました。苦手なことがあっても、道具の利用で苦手を軽減できることがあります。今回は、「苦手なことを助けてくれる(かもしれない)文房具」をいくつかご紹介したいと思います。

「片付けられない」「すぐなくす」

○貼れるポケット

各教科の教科書の表紙の裏やノートの本紙の裏に貼って、渡されたプリントをそこに挟むことを習慣にすると、プリントの紛失がぐっと減ります。どこにあるか探す手間も省けるので、イライラすることも減ります。パンチで穴を開けるなど余計な道具や手間が必要ないので、いつでもすぐにできます。定期的に、いらなくなったプリントは処分しましょう。



○透明な筆入れ・バッグ(見える化)

なくさないための工夫は「見える化」です。なくさないようにと何かにしまって、どこにしまったか忘れてしまったという経験はありませんか？忘れっぽい子や、なくし物が多い子も、「どこにしまったか忘れてしまう」ことが多いのです。それを防ぐため、どこにあるか「見える化」することが大切です。最近、透明ケースにお気に入りのキャラクターなどで装飾するのが流行のようなので、おしゃれな生徒でも取り入れやすいと思います。また、教科ごとに教科書・ノート・ワークなどの学習用具を透明の袋に入れ、袋ごとかばんに入れることで忘れものを減らすことができた生徒もいます。



「不器用で道具がうまく使えない」

○10センチ定規・スリット入り定規(使いやすい定規)

ぶきっちょさんには、一般的な20センチ定規は、教科書やノートに線を引くのがちょっと難しいです。そんなぶきっちょさんにお勧めなのが、10センチ定規です。コンパクトで小回りがきくので扱いやすいのです。分数の線を書く時に利用すると、見違えるほど数学のノートがきれいになった生徒さんがいました。スリット入りの定規はまっすぐ線を引くのが苦手なお子さんに便利です。



○ドクターコンパスなど持ち手が三角軸のコンパス(使いやすいコンパス)

持ち手のところがさりげなく三角軸になっているコンパスがあります。三角軸の方が丸形よりも持ちやすく、回転させてもぶれにくい構造になっています。小学生用に「くるんパス」が有名ですが、よりスタイリッシュなデザインの商品がいくつか販売されているので、中学生でも違和感なく使えます。



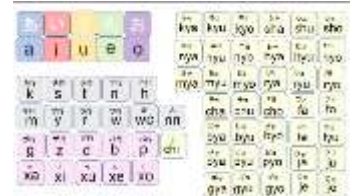
○シリコンマット(プリントのすべり止めに)

机の上でプリントが滑って字がうまく書けない、コンパスの針が滑ってうまく使えないなどの悩みを軽減してくれます。はさみで切って、定規の裏に貼り付ければ、定規の滑り止めにもなります。100円ショップでも購入できます。



○ChromeBook 用ローマ字表

授業で ChromeBook を使う機会が増えています。ChromeBook はキーボードが PC と違い小文字のためにキーを探すのに時間がかかる、清音はわかるけど、濁音、半濁音、拗音の入力が分からないと訴えるお子さんが少なくありません。そのようなお子さんのために、ChromeBook 用ローマ字表をはぐくみ教室で作成し、配布しています。ご希望の方ははぐくみ教室前に置いてありますので、どなたでも自由にお使いください。



はぐくみ教室では、以上の文具の他にも、教科書の文字を追うのが苦手なお子さん用の道具、書字が苦手で困っているお子さん用の筆記具などいろいろご紹介できる文房具をご紹介します。

詳しく聞いてみたい、実際に見てみたい(試してみたい)方は遠慮なく特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

